

酒井茜 & マルタ・アルゲリッチ

ピアノデュオ・リサイタル



アルゲリッチの信頼厚く
世界で活躍する名古屋出身のピアニスト

PIANO DUO RECITAL

Akane Sakai & Martha Argerich

モーツァルト：4手のためのピアノ・ソナタ ニ長調 K.381/123a
W.A.Mozart : Sonata for Piano Four-Hands in D major K.381/123a

プロコフィエフ/プレトニョフ編曲(2台ピアノ)：組曲《シンデレラ》op.87
S.Prokofiev/arr. M.Pletnev : Cinderella op.87

ストラヴィンスキー/自身による4手編曲(2台ピアノ)：春の祭典
I.Stravinsky : The Rite of Spring

9/27(金) 18:00 開場
18:45 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥21,000 A ¥18,000 B ¥15,000 C ¥10,000 D ¥7,000 学生 ¥2,000(税込)

学生券 中京テレビ事業HPよりエントリーしてください。公演1ヶ月前に抽選の上、ご登録メールアドレスに当落のご連絡をいたします。
26歳以下 学生証提示 ※一般席と並びでご購入されたい場合：公演1ヶ月前に残席がある場合に限り、並びでご予約いただけます。詳しくは中京テレビ事業までお問い合わせください。

●プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。

主催：5Cth CHUKYO TV 企画・運営：中京テレビ事業 マルタ・アルゲリッチ提供・協力：KAJIMOTO

お問合せ
お申込み **中京テレビ事業 ☎052-588-4477**
(平日 10:00~17:00)

<https://cte.jp/37cf/> **名古屋クラシックフェスティバル**
座席表からお席をお選びいただけます!

チ ケ ッ ト 販 売 所	中京テレビ事業チケットセンター(平日10:00~18:00)	052-320-9933
	チケットぴあ(Pコード 151-369)	0570-02-9999
	ローソンチケット(Lコード 40991)	0570-084-004
	愛知芸術文化センターPG	052-972-0430
	栄プレチケ92	052-953-0777
	e+(イープラス)	eplus.jp
	楽天チケット	http://r-t.jp/
	名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
	セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート店頭	

マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。スカラムツァのもとでピアノを始め、すぐさま公の場で演奏するようになった。

1955年に奨学金を得てヨーロッパに渡り、ロンドン、ウィーン、スイスでザイドルホーファー、グルダ、マガロフ、リパッティ夫人、ステファン・アスケナーゼに師事。

1957年のブゾーニおよびジュネーヴの国際コンクール、そして1965年のワルシャワのショパン国際コンクールで優勝。以後、20世紀から今世紀にかけて目覚ましい芸術活動を展開している。

ヨーロッパ、日本、アメリカにて世界一流のオーケストラや指揮者、音楽祭などから頻りに招かれているほか、室内楽にも熱心に取り組んでおり、とりわけピアノのネルソン・フレイレ、チェロのミッシェル・マイスキー、ヴァイオリンのギドン・クレーメルとは多くの共演を重ねてきた。

アルゲリッチが室内楽やオーケストラとの共演を録音したCDは各レーベルでリリースされている。1996年、フランス政府より芸術文化勲章オフィシェを受賞、1997年にはローマ・サンタ・チェチリア協会に任命される。

1998年より「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督をつとめる。1999年、「マルタ・アルゲリッチ国際ピアノコンクール」をブエノスアイレスで創設。2001年、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ国際賞が贈られた。2002年6月、スイスのルガーノで「マルタ・アルゲリッチ プロジェクト」を開催、芸術監督として親しいソリスト達とともに出演を続けた。日本では「高松宮殿下記念世界文化賞」および「旭日小綬章」(2005年)と旭日中綬章(2016年)アメリカでは「ケネディ・センター名誉賞」(2016年)を受賞した。

2015年被爆70周年記念コンサートに広島と東京で広島交響楽団と共演したアルゲリッチは、広響のMusic for Peace のコンセプトに共感し、同年広島交響楽団の「平和音楽大使」に就任、世界の音楽家たちが広島に集まり、共同芸術創造を行うプロジェクトの推進役を務めている。2018年よりハンブルグ交響楽団と新しいプロジェクトとしてアルゲリッチ・フェスティバルを始めた。

酒井 茜 & マルタ・アルゲリッチ

酒井 茜 Akane Sakai

名古屋生まれ。ピアノ教師の母のもと、幼少よりピアノを始める。

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学にて三浦みどりに師事。

卒業後ベルギーへ渡り、ブリュッセル音楽院にてエフゲニー・モギレフスキー、ルーヴァン音楽院ではアラン・ヴェイスの元1等賞を得て大学院過程を卒業。その後パーヴェル・ギリロフ、リリア・ジルベルシュタインに師事し研鑽を積む。

NPO法人イエローエンジェル奨学生、文化庁海外派遣新進芸術家研修生に選ばれた。

クレメラー・バルティカ、シンフォニア・ヴァルソヴィア、スイス・イタリア語放送管弦団、東京交響楽団、マンチェスター室内管弦楽団、ローザヌス室内管弦楽団などのオーケストラとアレクサンドル・ヴェデルニコフ、ジャン・ジャック・カントロフ、大友直人、ガボール・タカーチ=ナジなどと共演。

数々の音楽祭から招待されており、ラ・フォル・ジュルネ(東京、ナント)、PMF音楽祭(札幌)ラ・ロック・ダンテロン(フランス)、ショパンと彼の音楽祭(ポーランド)、ルガノ音楽祭(スイス)、別府アルゲリッチ音楽祭などがある。

パッサリからプロコフィエフ、バルトーク、武満等レパートリーは幅広く、最近では特にシマノフスキ、マチエフスキ、ヴァインベルグ、シュピルマンなど第1次世界大戦後のポーランド系ユダヤ人作曲家の作品の発掘に力を注いでいる。室内楽にも造詣が深く、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル、イヴリー・ギトリスから信頼が厚く、共演の数も多い。堀米ゆず子、木嶋真優、川本嘉子、ニコラス・アンゲリッチ、ボリス・ベレゾフスキー、エフゲニ・ボジャノフとも息の合った演奏を聴かせている。

録音はワーナーミュージック、グラモフォンよりルガノ音楽祭のライヴ、初のソロCDがキングインターナショナルから発売され、レコード芸術誌特選盤に選ばれた。

2018年よりドイツ・ハンブルグでのアルゲリッチ・フェスティバルにおけるアーティストック・プランナーとしても活躍している。

